

令和元年度 おいらせ知の会ふれあいの森植樹祭

三八上北森林管理署

6月29日(土)、おいらせ知の会会員と家族等25名が参加し、「川を守るためにみんなで植樹しましょう」をスローガンに、ブナの苗木100本を植樹しました。

1.植樹活動

当日は曇り空で、前日までの雨により水分をたくわえた土が苗木の乾燥を防ぎ、植樹にとっても適した環境で実施することができました。当署職員が植樹方法の説明および実演を行い、その後参加者全員で、木の根や笹と格闘しながら唐鍬で穴を掘り、植樹を行いました。

2.森林教室

植樹後は、森林教室として昨年に引き続きネイチャーゲームの一つである「フィールドビンゴ」を実施、おのおので森林の中を探索しました。

今回は、いたるところで土から顔を出している真っ白なギンリョウソウが特に目を惹き、「これは花なのか？」など参加者の関心を集めていました。また、水たまりからオタマジャクシを見つける人もいて、驚きの声があがっていました。普段、用事があって山に来て、目的のことに集中してじっくりと周囲を観察することは少ないので、改めて自然と向き合う機会になったようです。



植樹に励むみなさん



ギンリョウソウ



ビンゴを完成させるため探索中



探索の成果はいかがでしょう？



記念撮影

